

令和3年度学校評価総括表

徳島県立阿南支援学校

教育目標	本年度の重点課題
<p><徳島県教育の基本目標></p> <p>とくしまの未来を切り拓く，夢あふれる「人材」の育成</p> <p><学校経営基本方針></p> <p>1 教育方針</p> <p>一人一人の特性に応じた教育を行い，その可能性を最大に伸ばし，社会参加や自立につながる児童生徒の育成を図る。</p> <p>校 訓</p> <p>あかるく ゆたかに たくましく</p> <p>2 教育目標</p> <p>(1) 自らが生活するための基礎的な力を身につけ，進んで身の回りのことができる児童生徒を育てる。</p> <p>(2) 健康で安全な生活に努め一人一人に応じた体力づくりを行い，粘り強く活動できる児童生徒を育てる。</p> <p>(3) 学ぶことに興味をもち，豊かな感性を養い，自分の思いを表現できる児童生徒を育てる。</p> <p>(4) 生活経験の拡大を図り，人との関わりを深め，集団生活で協調できる児童生徒を育てる。</p> <p>(5) 社会生活に必要な知識や技能を習得し，積極的に社会参加・自立できる児童生徒を育てる。</p>	<p>1 安心・安全な学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none">・感染症予防，事故防止対策の徹底・防災対策の充実・緊急連絡体制の強化 <p>2 多様性を育むキャリア教育の展開</p> <ul style="list-style-type: none">・自己肯定感を高める教育活動の実践・卒業後を見据えた指導内容の精選・小中高がつながる学びの推進・教員の専門性，指導力の向上 <p>3 地域とともにある学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none">・地域と連携したした教育活動の推進・地域交流及び地域貢献の推進

[令和3年度学校評価総括表 小学部]

(学校名：徳島県立阿南支援学校)

自己評価		学校関係者評価		次年度への課題と今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
[本年度の重点課題] 安心・安全な学校づくり [下位組織レベル] 1 児童の安全や健康についての情報共有及び事故防止策の徹底	評価指標 1 学部内アンケートにおいて、児童の安全や健康について情報の共有や予防の対策ができた と回答した学部教員が、全体の85%以上になる。	評価指標の達成	総合評価 (評定)	
	活動計画 1-①感染症予防のために、児童に対して手洗いや手指消毒、検温等を行い、常に健康観察をする。 1-②授業場所の換気や机の配置等の工夫をする。 1-③毎日1回は各学級をまわって確認し、環境設定等が不十分であれば改善する。 1-④月2回の学部会において、健康や安全に関する配慮事項について毎回児童の情報提供の時間を設定し、情報共有をする。 1-⑤けがや事故につながる恐れのある事象についてはインシデント・アクシデント報告書を作成し、注意喚起や事故防止対策を行う。 1-⑥職員朝会や部会で周知し、共通理解を図る。	活動計画の実施状況	(所見)	
[本年度の重点課題] 多様性を育むキャリア教育の展開 [下位組織レベル] 1 基本的な生活習慣や日常生活に必要な知識・技能を養い、児童の自立度を高める	評価指標 1 個別の指導計画の短期目標設定時に、「日常生活の指導(朝・給食・帰り)」の日常生活チェックシートを活用して、目標を1つ以上設定する。その目標を達成した児童が全体の85%以上になる。	評価指標の達成	総合評価 (評定)	
	活動計画 1-①4月・5月に「日常生活の指導(朝・給食・帰り)」の日常生活チェックシートを活用して実態を把握する。 1-②日常生活チェックシートでの「△」の評価の基準を教員間で共通認識できるように、基準を明確にし、マニュアルに明記するとともにチェックシートに具体例を添付する。 1-③4グループに分かれてグループ検討会を実施し、進捗状況を確認する。目標や手立てについて検討が必要なケースについては、グループ内でアイデアを出し合う。 1-④日常的にポジティブな支援を意識できるように、グループ検討会で児童への褒めエピソードを発表し合う。 1-⑤個別の指導計画の評価後に、達成状況をまとめる。 1-⑥年度末に学部教員にアンケートを行い、次年度の課題と改善策を検討する。	活動計画の実施状況	(所見)	

* 「評定」の基準 A：十分達成できた B：概ね達成できた C：達成できなかった

[令和3年度学校評価総括表 中学部]

(学校名：徳島県立阿南支援学校)

自己評価			学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
[本年度の重点課題] 安心・安全な学校づくりの推進 [下位組織レベル] 1 感染症防止、事故防止対策の徹底	評価指標 1 マスク着用と決まった時間での手洗いができているかを記録し、達成率が90%以上になる。	評価指標の達成	総合評価 (評定)	
	活動計画 1-①集会活動の計画に、新型コロナウイルス感染症防止の意義や手洗いの仕方、マスクの着用について学ぶ機会を取り入れ、定期的に確認ができるようにする。 1-②保健体育や自立活動の時間に清潔や感染症予防について、自主的な行動をとることができるようにグループ別に計画を立て、実践に取り組む。 1-③設定した時間(登校後、朝の運動後、給食前、下校前)に手洗いができているかの記録を6月、10月、1月にとり、3回の記録時に達成を出す。	活動計画の実施状況	(所見)	
[本年度の重点課題] 多様性を育むキャリア教育の推進 [下位組織レベル] 1 ポジティブな行動支援による小中高がつながる学びの推進	評価指標 1 「朝・給食・帰りのチェックシート」または「清掃のチェックシート」を活用して個別の指導計画の目標を立て、目標を達成した生徒が全体の80%以上になる。	評価指標の達成	総合評価 (評定)	
	活動計画 1-①小学部で活用する「朝・給食・帰りのチェックシート」、また高等部で活用する清掃マニュアルを参考に作成した「清掃チェックシート」を生徒実態や教員の使用感に応じて改善し、正確な実態把握の効率化を図る。 1-②担任と授業担当者でそれぞれのチェックシートを使って話し合い、日常生活の指導目標に設定し、実践を行う。 1-③定期的(年間3回)に報告会を持ち、状況を共有して指導方法の改善やアイデアを出し合い、生徒のスキル獲得と自主性の向上に役立てる。 1-④コンサルテーション事業を活用し、取り組みの進め方について助言をいただき、指導の促進や改善に役立てる。 1-⑤日常生活の指導以外の課題について記録を取り、状況報告会にて報告して指導方法の改善やアイデアを出し合い実践に役立てる。 1-⑥学期末ごとに達成度を確認し、チェックシートの達成度を確認する。 1-⑦クラスごとに取り組みについてまとめ、事例報告集に掲載して成果を教員間で共有できるようにする。	活動計画の実施状況	(所見)	

* 「評定」の基準 A：十分達成できた B：概ね達成できた C：達成できなかった

[令和3年度学校評価総括表 高等部]

(学校名：徳島県立阿南支援学校)

自己評価			学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
[本年度の重点課題] 安心・安全な学校づくり [下位組織レベル] 1 感染症予防, 事故防止対策の徹底	評価指標 1 学部の開催時に, 感染症予防や事故防止に向けた情報共有・対応策検討の機会を設ける。	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	
	活動計画 1-①感染症や事故に関する情報を管理職に報告するとともに学部会等で共有し, 対応策を検討して周知する。 ----- 1-②事故及び重大な事故や怪我につながるおそれのある事案について, 「インシデント・アクシデント」の報告書の作成を促し, 高等部の共有フォルダにて管理し, 情報共有をはかる。	活動計画の実施状況	(所見)	
[本年度の重点課題] 多様性を育むキャリア教育の展開 [下位組織レベル] 1 コミュニケーション能力・社会性の育成 2 職業教育の見直しと検討(学科再編をみすえた教育課程の検討)	評価指標 1 コミュニケーション能力・社会性の向上が見られた生徒が80%以上になる。 ----- 2 学科再編検討委員会を年間3回以上開催し, 提案書を作成する。	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	
	活動計画 1-①個別の指導計画において, コミュニケーション能力・社会性の向上に関する目標を立て, 実践する。 ----- 1-②個別の指導計画において, コミュニケーション能力・社会性の育成に関する項目の評価が向上しているかどうかをチェックする。 ----- 1-③自立活動で扱うソーシャルスキルトレーニングの指導内容・方法を検討し, 共有する。 ----- 2-①学科再編検討委員会 6月…学科再編について, これまでの経過を確認し, 今後のスケジュールについて検討する。 7月～10月…県教委と協議をし, 学科再編案を作成する。①基本的な方向性②教育課程に関する事③施設設備に関する事 等 2月…課題整理と次年度の取組を検討する。	活動計画の実施状況	(所見)	
[本年度の重点課題] 地域とともにある学校づくり [下位組織レベル] 1 地域資源を活用した学習活動の推進	評価指標 1 竹林再生会議と連携し, 地域の竹林から調達できる材料を活用した, 竹和紙の紙漉き作業等の学習活動を実施する。	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	
	活動計画 1 5月～竹和紙の原料となる竹の加工, 漬け込み等の作業開始 6月～竹和紙の紙漉き作業等 7月～漉き上がった竹和紙を用いた作品作り等 11月～2月 作品展示及び成果の発表等 3月～次年度の活動に向けた課題の検討等	活動計画の実施状況	(所見)	

* 「評定」の基準 A: 十分達成できた B: 概ね達成できた C: 達成できなかった

自己評価			学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
[本年度の重点課題] 安心・安全な学校づくり の推進 [下位組織レベル] 1 校内の防災対策の見 直し・検討をし、必要な 訓練等を行う。	評価指標 1－①児童生徒の備蓄食について調査 ・確認をする。	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	
	1－②防災備蓄品等の一覧表の更新を 行う。			
	1－③避難訓練に、従来までにはなか った訓練を追加する。			
	活動計画 1－①5年以上保存可能な備蓄食を、 児童生徒の80%以上が準備すること が継続できるよう、個別に現在の備蓄 食を確認する。昨年度、長期保存可 能な備蓄食に切り替えができていな い児童生徒については担任から保護 者へ切り替えを促すようにする。	活動計画の実施状況	(所見)	
	1－②防災関係の備蓄品の所在と個 数、配付元を明確にする。使い方 について一覧表に追加して記載す る。			
	1－③地震津波想定避難訓練時に新 しく配置したヘルメットを使用し たり、備蓄食の試食を行ったりす る訓練を実施する。			

* 「評定」の基準 A：十分達成できた B：概ね達成できた C：達成できなかった

[令和3年度総括評価表 教務課]

(学校名：徳島県立阿南支援学校)

自己評価			学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
[本年度の重点課題] 安心・安全な学校づくり [下位組織レベル] 1 新型コロナウイルス感染症予防対策として、教務課が担当する行事の実施方法や内容等について検討する。	評価指標 1 各学部の実態に合わせた新型コロナウイルス感染症予防対策を講じ、本来の学校行事数の70%程度を実施する。	評価指標の達成度 総合評価 (評定)		
	活動計画 1 可能な限り教務課担当の学校行事を実施するため、各学部の実態に合わせた新型コロナウイルス感染症予防対策を模索する。	活動計画の実施状況 (所見)		
[本年度の重点課題] 多様性を育むキャリア教育の展開 [下位組織レベル] 1 キャリア教育の視点から、将来必要な力を養うための教育課程・教育内容の見直しを行う。	評価指標 1 各学部の課題をあげ、その70%について改善案をまとめ、8月上旬までに次年度の教育課程を作成する。	評価指標の達成度 総合評価 (評定)		
	活動計画 1-①小学部において、体育や自立活動の授業グループの編成や学習内容について、今年度実施しての課題点をまとめ、次年度に生かす。	活動計画の実施状況 (所見)		
	1-②中学部において、生徒の実態に合わせた授業グループの編成や学習内容について検討する。			
1-③高等部において、昨年度までにまとめた職業科の学科再編案について、教育課程について検討する。				

* 「評定」の基準 A：十分達成できた B：概ね達成できた C：達成できなかった

自己評価		学校関係者評価		次年度への課題と今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
[本年度の重点課題] 多様性を育むキャリア教育の展開 [下位組織レベル] 1 全学部の教員からの意見をもとに、指導内容系統表と行動シートをより活用しやすいものにする。 2 子どもたちが自信を持って参加できる授業作りや問題行動の改善のために、全学部で専門家派遣事業を活用する。	評価指標 1 改訂した指導内容系統表と行動シートについて、全学部対象のアンケートを行い、90%以上の回答率とする。	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	
	2 専門家派遣事業を活用したコンサルテーションに参加し、授業作りや問題行動の改善に役立ったと回答した教員が、全体の80%以上になる。	活動計画 1-①夏季休業中に、各学部ごとに指導内容系統表と行動シートの使い方について、教科担任やクラス担任を対象に研修を行う。 1-②9月以降に全教員対象に、指導内容系統表と行動シートについてのアンケートを行う。 1-③アンケート結果をもとに必要に応じて改訂を行うとともに、質問が出やすい箇所等についての説明マニュアルを作成する。 2-①研究課員の中から研修担当リーダーを配置し、計画書作成や指導、研修の実施に当たって、担任や担当をサポートする体制を構築する。 2-②コンサルテーションを実施し、指導手続きの話し合いの機会を2回設定するとともに、学部研修会や報告会を1回以上開催する。	活動計画の実施状況	

* 「評定」の基準 A：十分達成できた B：概ね達成できた C：達成できなかった

[令和3年度学校評価総括表 図書情報課]

(学校名：徳島県立阿南支援学校)

自己評価		学校関係者評価		次年度への課題と今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
[本年度の重点課題] 安心・安全な学校づくりの推進 [下位組織レベル] 1 情報モラルに関する指導の充実改善を図るために、研修や啓発活動等を計画的に推進する。	評価指標 1 年間6回以上情報モラルに関する職員研修や啓発を実施する。また、年度末の調査において、90%以上の教員が理解し実践できたと答える。	評価指標の達成度 	総合評価 (評定)	
	活動計画 1 情報モラル教育年間計画をいつでも閲覧できるように配置し、職員会議や職員研修等において、啓発や研修を年間6回以上実施する。また、年度末の調査を行い成果等を評価する。	活動計画の実施状況 	(所見)	
[本年度の重点課題] 多様性を育むキャリア教育の推進 [下位組織レベル] 1 研修や啓発の充実を図ることによって、教員一人一人のICT活用指導力の向上を図る。また、ICT環境や校務システムの充実改善を図ることにより、小学部から高等部まで一貫した系統的な指導や指導に係る校務等を効果的かつ効率的にできるよう推進する。	評価指標 1-① ICT活用指導力に関する研修や啓発を年間6回以上実施する。 1-② ICT機器を利活用した授業を年間5回以上実施する教員の割合を90%以上とする。 1-③ 児童生徒の一人一台のICT機器を利活用し易く設定する。学部ごとに必要な研修を企画実行する。	評価指標の達成度 	総合評価 (評定)	
	活動計画 1-① ICT活用指導力に関する啓発や研修を年間6回以上実施するとともに、年度末に職員アンケートを実施し、どのように実践したかについて調査する。 1-② 時宜を捉えて職員への啓発を図り、具体的授業実践に関する職員アンケートを年度末に実施し、どのように実践したかについて調査する。 1-③ 各種事業等への積極的な参加を図るとともに県費等による備品の充実を図り、視聴覚機器を年間2台程度増設できるようにする。	活動計画の実施状況 	(所見)	
[本年度の重点課題] 地域とともにある学校づくりの推進 [下位組織レベル] 1 地域等に対しての学校ホームページによる情報発信を活性化させ、開かれた学校を目指した取り組みを積極的に推進する。	評価指標 1 学校ホームページの情報発信を活性化し、更新が必要なページを年間4回以上更新する。	評価指標の達成度 	総合評価 (評定)	
	活動計画 1 学校ホームページの充実に向けての担当者等への啓発研修を推進する。また、更新頻度が上がるように、更新状況等について時宜を捉えて全職員に周知する。また時宜を捉えて、更新ができていない担当者に更新をするように促す。	活動計画の実施状況 	(所見)	

* 「評定」の基準 A：十分達成できた B：概ね達成できた C：達成できなかった

[令和3年度総括評価表 人権教育課]

(学校名：徳島県立阿南支援学校)

自己評価		学校関係者評価		次年度への課題と 今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
[本年度の重点課題] 多様性を育むキャリア教育の推進 [下位組織レベル] 1 人権に関する様々な情報発信を行う。	評価指標 1-①教職員に対して、人権に関する情報発信を行い、80パーセント以上が情報を得ることができたとの回答を得る。	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	
	1-②児童生徒の人権に関する活動を3回以上設定し、校内や校外へ発信する機会を持つ。	活動計画の実施状況	(所見)	
	活動計画 1-①-1 人権新聞「サンフラワー」の紙面を活用し、職員会議の時間に「プチ研修」を年間6回以上実施する。 ----- 1-①-2 12月に校内人権教育研修会を実施する。 ----- 1-①-3 人権教育課の掲示板や職員朝会を活用し、講演や研修会等の案内を10回以上行う。 ----- 1-①-4 1月中に教職員に対して情報を得ることができたか、アンケートを実施する。 ----- 1-②-1 さわやかクラブや人権委員会のメンバーによる人権放送を昼休み時間に8回以上持つ。 ----- 1-②-2 「平和の折り鶴」づくりを6月から7月に行い、8月の平和市民祈念集会を献納する。 ----- 1-②-3 県や市が主催する作品募集事業に2回以上応募し、作品発表を行う。 ----- 1-②-4 人権委員会を中心に「ありがとうの木」を制作し、校内に掲示する。			

* 「評定」の基準 A：十分達成できた B：概ね達成できた C：達成できなかった

自己評価		学校関係者評価		次年度への課題と今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	学校関係者の意見		
[本年度の重点課題] 安心・安全な学校づくり [下位組織レベル] 1 児童生徒自らが感染予防や事故防止のための適切な行動がとれる。 2 緊急時の教員間の連携体制や役割分担が周知できる。	評価指標 1-① 自力通学生に対する通学指導を年 12 回以上実施する。 1-② 自転車通学生に対する毎月の自転車点検を 100% 実施する。 1-③ 生徒自らが感染予防が適切にできているか等を振り返る機会を年 10 回以上設定する。 2 児童生徒探索マニュアルと不審者侵入対応マニュアルを元に各 1 回ずつ訓練を実施し、訓練後のアンケートで 90% 以上の教員からマニュアルや自分の動きが「わかりやすかった」との回答がある。	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	
	活動計画 1-① 学校安全の日や長期休業明けに阿南駅および南島交差点と坂下横断歩道の 3カ所で立哨指導を行う。 1-② 学校安全の日に担任が立ち会い実施する。当日欠席や実習中の場合はその月内に実施する。 1-③ 学校安全の日の集会の中で登下校時および学校生活で生徒各自が感染予防が適切にできているか行動の振り返りを行い、適切な予防について確認する。 2-① 児童生徒探索マニュアルと不審者侵入対応マニュアルを令和3年度版に改訂し職員会議で周知する。 2-② 児童生徒探索訓練では探索班の動きを事前に共通理解し、本部との連絡をスムーズにするとともに、訓練後に校外捜索用の地図の見直しが必要なら行い、今後本部と探索班の連絡や指示が的確に行えるようにする。 2-③ 不審者侵入対応訓練では教員の動きを動画で記録し、訓練後に振り返ることで緊急時の動きを役割ごとに確認できるようにするとともに、他の役割の動きも把握してもらい、全体の動きを全教員が共有できるようにする。 2-④ 訓練後にアンケートを実施する。	活動計画の実施状況	(所見)	

* 「評定」の基準 A：十分達成できた B：概ね達成できた C：達成できなかった

[令和3年度総括評価表 特別活動課]

(学校名：徳島県立阿南支援学校)

自己評価		学校関係者評価		次年度への課題と今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
[本年度の重点課題] 安心・安全な学校づくり [下位組織レベル] 1 感染症予防，事故防止対策の徹底	評価指標 1 「体育の日」と「学校祭」を，感染症予防対策を徹底して，計画，運営することができる。	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	
	活動計画 1-①特別活動課において，感染症予防対策を最優先に考えて計画と運営について協議し，「体育の日」と「学校祭」の原案を作成する。 ----- 1-②原案を学部会，運営委員会で協議，調整した上で，職員会議に提案し実施要項を作成する。 ----- 1-③実施要項を基に，各学部や係の進捗状況を把握する。懸案事項や協議事項が生じた時には，その都度管理職等と相談しながら修正する。修正事項や共通理解事項が生じた時には職員会議等で連絡し，共通理解を図りながら準備を進める。 ----- 1-④直前に各学部や係ごとに最終確認するよう依頼する。保護者や全教職員に確認事項を改めて周知し，認識や行動にズレや違いが生じないようにする。	活動計画の実施状況	(所見)	
[本年度の重点課題] 地域とともにある学校づくり [下位組織レベル] 1 地域交流及び地域貢献の推進	評価指標 1 マスコットキャラクター「ひまちくりん」を介し，本校の情報を阿南市や周辺市町に発信する。	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	
	活動計画 1-①各学部ごとに美術や生活単元学習を利用して，一部竹紙を使用したひまちくりんのモザイク画(B1サイズ3点，B2サイズ2点)を作成する。 ----- 1-②モザイク画を交流校(大野小，長生小，加茂谷中，富岡東高羽ノ浦校)や自治体に持参し，掲示するよう依頼する。 ----- 1-③地元ケーブルテレビと連携し，モザイク画の制作過程から完成までの様子を撮影，放送してもらう。その際，学校の近況に関する情報の発信を行う。	活動計画の実施状況	(所見)	

* 「評定」の基準 A：十分達成できた B：概ね達成できた C：達成できなかった

自己評価		学校関係者評価		次年度への課題と今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
[本年度の重点課題] 安心・安全な学校づくりの推進 [下位組織レベル] 1 安心や安全に配慮した就業体験を計画し、実施する。	評価指標 1 安心や安全に配慮した就業体験が実施できたという高等部教員の評価が90%以上となる。	評価指標の達成度 	総合評価 (評定)	
	活動計画 1-①就業体験受け入れ先及び保護者に新型コロナウイルス感染防止対策についての文章を作成・配付して就業体験への協力を依頼する。 ----- 1-②保護者に新型コロナウイルス感染防止対策をとったうえでの就業体験への参加の有無を選択してもらう。 ----- 1-③健康観察表を作成し、生徒本人及び巡回指導に関わる引率教員の健康チェックを行い、それぞれ確認印をもらう。 ----- 1-④就業体験実施前に引率教員への新型コロナウイルス感染防止対策を周知徹底する。 ----- 1-⑤感染拡大状況等を考慮しながら感染予防対策や就業体験の計画・実施等について課会で検討する。 ----- 1-⑥必要に応じて事業所や施設と適宜連絡をとる。 ----- 1-⑦就業体験実習終了後、高等部全教員対して就業体験実施についてのアンケートを作成し、とる。	活動計画の実施状況 	(所見)	

* 「評定」の基準 A：十分達成できた B：概ね達成できた C：達成できなかった

自己評価		学校関係者評価		次年度への課題と 今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価		
[本年度の重点課題] 2 多様性を育むキャリア教育の展開 3 地域とともにある学校づくり [下位組織レベル] 1 本校教員の専門性，指導力の向上を図るとともに，地域の特別支援教育に貢献できるように，センター的機能の充実を図る。	評価指標 1-①専門性向上，指導力の向上を図ることができるような本校職員と地域を対象とした公開研修会を2回以上開催する。アンケートを実施し，「専門性の向上が図れた，または今後の指導に生かすことができる」との回答が校内外ともに80%以上である。	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	
	1-②総合教育センターと連携し，巡回相談員の活動として，地域の小中学校にSWPBSを広める活動を実施する。	活動計画の実施状況	(所見)	
	活動計画 1-①-1 特別支援教育パワーアップ事業を活用し，外部講師を招聘して研修会を1回開催する。 1-①-2 本校教員を講師とし，専門性，指導力の向上に繋がるような研修を1回以上開催する。 1-①-3 専門性，指導力向上に関するアンケートを参加者全員を対象に実施する。 1-②-1 2校で実施し，各校2回程度訪問する。その際，SWPBSに関する研修や指導・助言を行う。			

* 「評定」の基準 A：十分達成できた B：概ね達成できた C：達成できなかった

自己評価			学校関係者評価		次年度への課題と今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見	
[本年度の重点課題] 安心・安全な学校づくり [下位組織レベル] 1 児童生徒が安心・安全に学校生活を送ることができるように感染予防対策の徹底を図る。 2 教員対象の研修を計画し、傷病者発生時の緊急対応について、意識やスキルを高める。	評価指標 1 感染症予防対策（健康観察や手洗い・手指消毒、マスク着用、定期的な消毒、給食における予防対策）が徹底されたという教員の評価が80%以上となる。 2 5種類の緊急対応についての研修において、教員の参加率が90%となる。	評価指標の達成度		総合評価 (評定)	
	活動計画 1-①登校後と下校前の健康観察表を各クラスに配布し、表に基づいて担任が児童生徒の検温・観察を行う。異常の早期発見に努め、迅速に対応する。 1-②給食当番チェック表、健康観察表（教員用）を作成し、給食当番の健康状態等を確認する。給食においては、密を避けるための環境設定を行う。 1-③感染症予防対策チェック表を作成し、それぞれの項目（a手洗い、b手指消毒、c換気、d定期的な消毒、eマスク着用、f保健室との連携、g児童生徒への指導について）について、月に1回クラス毎にチェックして振り返るようにする。気になったところは職員全員に周知し、学校全体で感染症予防対策に取り組むことができるようにする。 1-④月1回の課会において、校内ガイドラインや感染予防対策の不備や改善点を話し合い、健康管理や環境衛生を良好に保つ取り組みを進める。決まったことを月1回の職員会議等で提案し、職員全員に周知する。 2-①研修の内容について、ポイントをまとめた資料を作成し、配布する。内容によっては、場面や状況を設定して、実際の対応を撮影した動画を作成し、研修に活用する。 2-②参加時に名簿チェックを実施し、研修後に集計する。	活動計画の実施状況		(所見)	

* 「評定」の基準 A：十分達成できた B：概ね達成できた C：達成できなかった